

社内調査と危機管理広報の実践的ポイント

～ 不祥事が起きた際の全プロセスについて実践的に解説 ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 10月 23日(水) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

昨今、有名企業の不祥事が世間の耳目を集め、様々な第三者委員会の報告が世を賑わせています。しかし、大切なことは、直ちに立派な第三者委員会を構成することではなく、まず、当該企業が、迅速かつ適切な対応を取ることです。みずから、迅速な原因究明と適切な対応策の提示する姿勢を示さなければ、企業価値の回復は困難です。原因究明のため、どのようにチームを組み、何を調査し、どのような証拠を集め、どのように事実認定を行うか。そして、いかにして、この経過や調査結果、対応策を世に示し、社会の信頼を回復するか。広報は、今や調査と並び、危機管理の重要な要素となっています。弁護士には、事案分析や事実認定を行うノウハウ、対応策を見極め、これを表現していくスキルがあります。第三者委員会に頼らず、いかにして不祥事に対応するか。その全てのプロセスについて、裁判例等を示して実践的な解説を行います。

講師 名川・岡村法律事務所 パートナー弁護士 佐野知子 氏

講師紹介 東北大学法学部卒業、平成11年4月最高裁判所司法研修所入所(53期)、平成14年2月弁護士登録、名川・岡村法律事務所入所。平成21年～平成28年国立科学博物館監事。平成23年～東京音楽大学非常勤講師、平成31年同客員教授。平成31年～最高裁判所司法研修所民事弁護教官一般民事のほか、会社法務、家族法まで幅広い分野に対応。また、講演経験も豊富で、ハラスメント対応、内部統制システムや危機管理を対象とした講演多数。

《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191629-0303 (※) 社内調査と危機管理広報の実践的ポイント

ふりがな 会社名			
住所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名	所 役 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

1. 不祥事対応のポイント = 対応全般を通じて念頭においておかなければならないことは何か
2. 初動のポイント=初動がうまく行くかどうかで、危機管理の様相はまったく変わる
3. 本格的な調査のポイント = どういったメンバーで、何について、どのようなことをするのか

- (1) 企業の調査権限とその範囲
- (2) 調査体制の選択
- (3) 事実調査のポイント
- (4) 証拠分析
- (5) ヒアリングについて
- (6) 証拠化

4. 報告書・再発防止策定などのポイント

5. 第三者委員会について = 第三者委員会が設置されるケースでも、企業はいろいろな対応を迫られる。また、対応いかんによって、その後の方向性に影響が出る

6. 平時になすべきこと = うまく危機管理に対応するためには、日ごろの対応が重要

7. 危機管理広報とは

危機管理広報の目的、難しさ、法的位置づけ

8. 危機管理広報の基礎

- (1) 危機管理広報の心構えとタイミング、広報手段の選択基準、SNS対策
- (2) 危機管理広報の5要素

9. 危機管理広報の実践①(記者会見対応)

- (1) 情報の共有と集約
- (2) 記者会見準備
- (3) 質疑応答のポイント

10. 危機管理広報の実践②(広報文書作成)

- (1) リリース・謝罪文のフォーマット
- (2) 文書の名義
- (3) わかりやすくするための工夫

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。